



床用コルクシートの施工方法

施工前の注意

◎下地はモルタル、もしくは合板であることをご確認ください。

注) リフォームの場合、木質フロアやコルクの場合、重ね貼りが可能ですが、じゅうたんやクッションフロア、Pタイルなどは取り除いてください。

◎木質フローアやコルクの上部にワックスが掛っている場合、ワックスを取り除くか、サンドペーパーなどで、削り取ってください。

◎床用コルクシートの表面仕上げ材には必ずトッパーコルクタイルをご使用ください。この組み合わせにより性能を十分に生かす事が出来ます。

◎施工する下地が合板の場合、含水率は10%以下であることを確認してください。合板の継ぎ目などの段差は予め整えて置いてください。

モルタルは下記の方法で含水率のチェックをしてください。

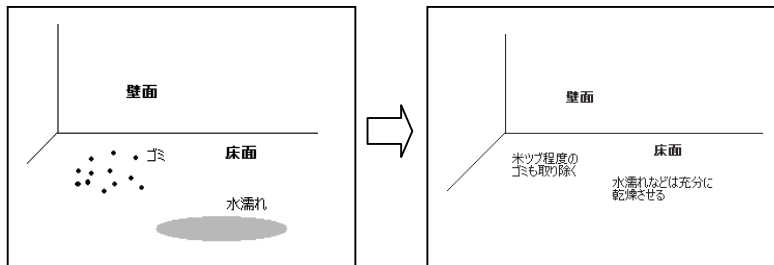
* 下地が乾燥していることを下記の方法で確認してください。

①打設後3週間以上経過しているかを確認してください。

②同一打設時期でも最も乾燥しにくいと思われる部分の下地表面を最低一ヶ所選定し、1m×1m程度のポリシートの四周を布テープ(ガムテープ)止めにより被覆密閉する。24時間以上放置後シート下の材面が黒く変色していないことを確認してください。

1. 清掃

下地の凹凸や段差を事前に補修し、ゴミ・ホコリ・油分などを取り除き水分はよく乾かしてください。



必ず清掃してください。

2. 墨だし・割り付け

壁際のロス分を考慮し割り付けたあと、貼り始め(第一列)の基準線の墨だしをしてください。

3. 接着剤の塗布

下地専用接着剤TCE-4000をクシ目ゴテで塗布してください。塗布は塗り溜まりの無いよう均一にクシ目がはっきり目立つように塗り広げてください。

* 標準塗布量は300~350g/m²です。

4. 接着剤のオープンタイム

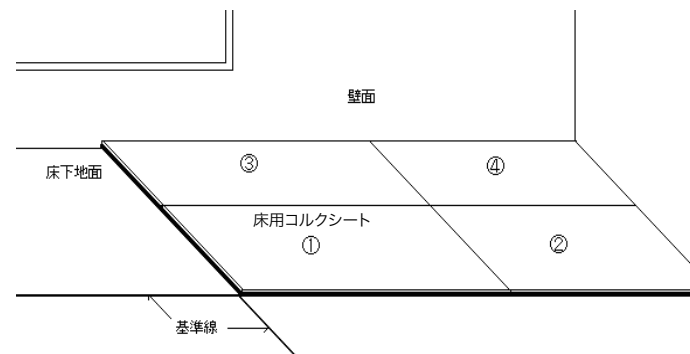
接着剤の塗布後、オープンタイムを取ります。

| 季節 (気温) | オープンタイム (目安) | 貼り合わせ可能時間 (オープンタイム後) |
|--------------|--------------|----------------------|
| 夏 (25~35℃) | 15~20分 | 40~60分 |
| 春・秋 (15~25℃) | 25~35分 | 60~90分 |
| 冬 (5~15℃) | 30~35分 | 60~60分 |

オープンタイムを取った後、貼り合わせ可能時間内に商品の貼り合わせをしてください。表面が皮張りすると接着出来なくなります。

* 詳しくは接着剤の添付ラベルを参照してください。

5. 材料の貼り合わせ



先に引いた基準線が交差する所①から順に貼り始めます。

6. 圧着 (重要)

1枚1枚ハンドローラで丁寧に圧着してください。TCE-4000は初期タック(接着力)が少ないので下地及び材料の状態により浮きを生じる場合があります。その場合、重し等で圧着、固定してください。

7. 仕上げ

施工後、30分ぐらいで再度ハンドローラを用いて圧着してください。(特に目地部を中心にしっかり押さえてください。)

仕上用コルクタイルを貼りつけるための基準線を引く場合は、床用コルクシートとの目地が重なる箇所がない様に割付を行ってください。

◇商品及び施工についてのお問い合わせは

東亜コルク株式会社

本社 〒574-0056 大阪府大東市新田中町5-1

TEL 072-872-5691 FAX 072-872-5695